

特集 2 ◆ 中高生ラピッド市派遣者アンケート

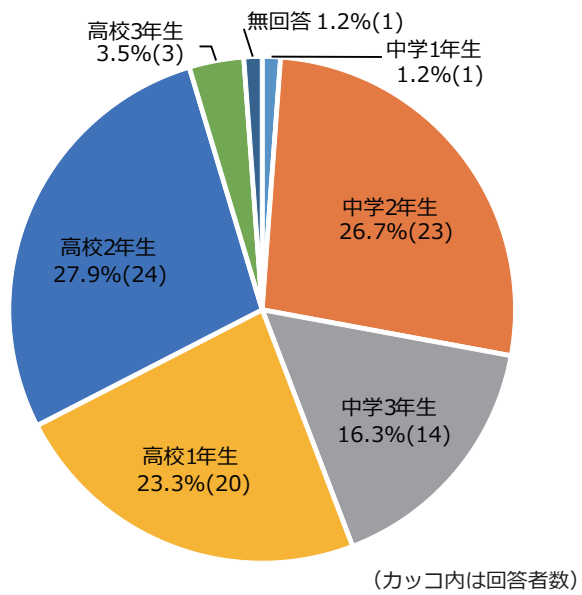
「中高生ラピッド市派遣事業」は、旧今市市で平成5年度に始まり、市町村合併を経てこれまでに300名以上の中高生をラピッド市へ派遣してきました。

市町村合併から10年の節目を迎え、これまでの事業の成果を明らかにして、今後の事業の方向性を検討し、国際交流事業の充実と活性化を図るため、これまでの派遣者の皆様を対象にアンケートをおこないました。

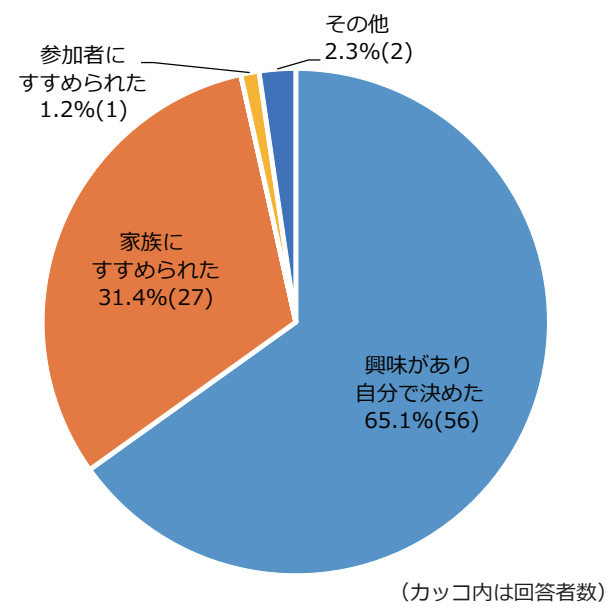
◎対象…平成5年度から平成26年度までの派遣者 ◎方法…郵送による記入調査
◎期間…平成27年12月から平成28年1月
◎配布数…293名 ◎回収数…86件 ◎回収率…29.4%

□ アンケート結果（抜粋）

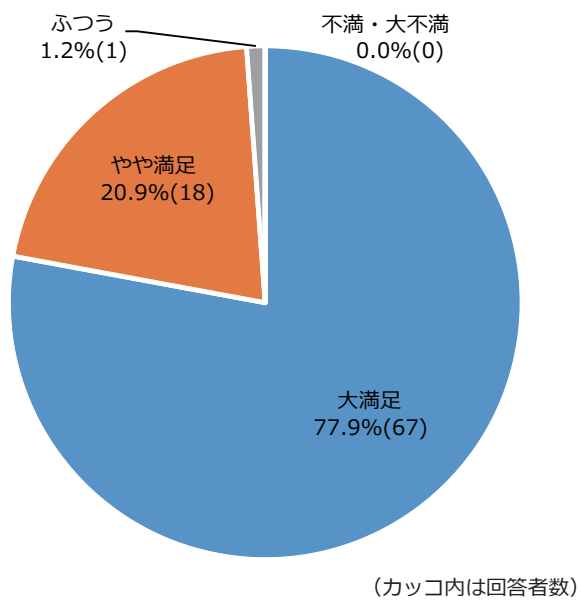
① 派遣事業参加時の学年



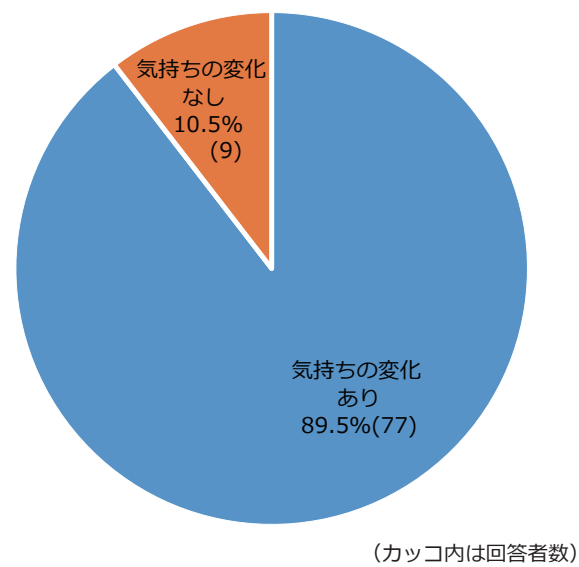
② 派遣事業に参加した理由



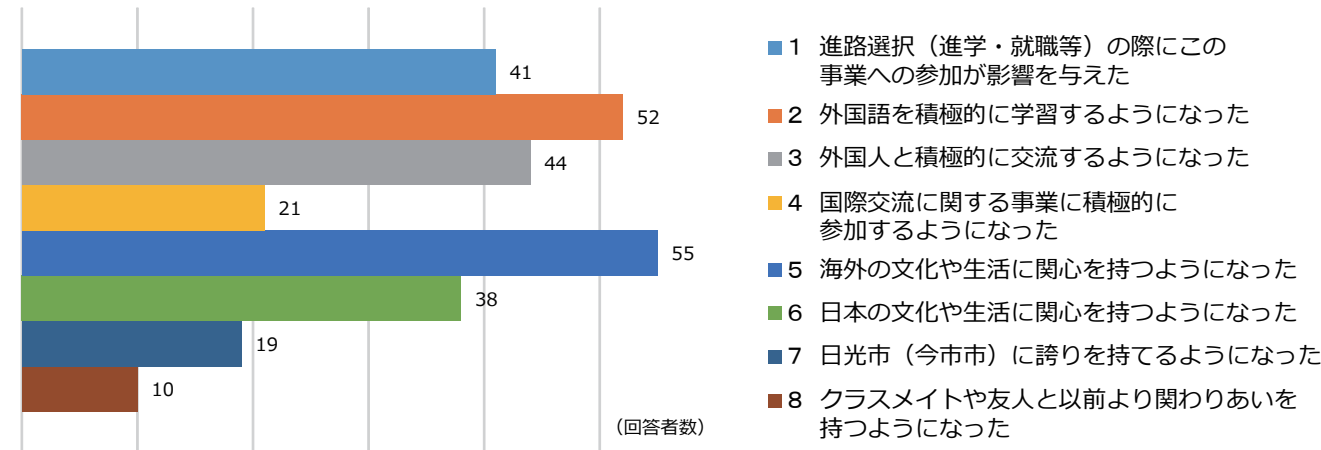
③ 派遣事業の満足度



④ 派遣事業への参加前と参加後で気持ちの変化があったか



⑤ 変化した気持ちの詳細（複数回答可）



⑥ 自由意見（グラフ④、⑤に対して）

・現在、英語に関する仕事に就いているのも、こちらの派遣事業が一つのターニングポイントになったからだと思います。
・大学も外国語学部を専攻し、海外ボランティアをする等、世界に関心を持ち、世界のために何か役に立ちたいと思うようになりました。
・ラピッド市を訪れることでその街と日光市を相対的に比較することができました。自分の住んでいる所がどんな場所であるのか身をもって感じるができると思います。
・自分から積極的にコミュニケーションを取ること。意欲的に色々な事に挑戦するようになった。グループなどのリーダーも出来るようになった。

⑦ 心に残っているエピソードや未来の派遣生に送りたいことば

・現地の同世代の子供たちとコミュニケーションをすることで、思春期ならではの気持ちの揺れや遊びたい！という欲求が共通していることを知り、とにかく親近感をもてた。
・ホストファミリーとのことです。コミュニケーション不足が原因で、彼らを不安にさせてしまう出来事がありました。その時に感じた悔しさが、向上心を生むきっかけにもなったので、今となっては貴重で良い思い出です。
・全てのことが新鮮でとても楽しかったです。中学生～高校生の時期に、全ての人たちに経験してほしいことばかりでした。遠くまで続く地平線を見れば、小さな悩みなんてどうでもよくなってしまいます。



□ まとめ

ほとんどの方が、派遣事業に対し「大満足」・「やや満足」と答えています。そのような中、ホームステイについては、「2人でステイできて安心した」「1人の方が良かった」と両方の自由意見がありました。

また、参加学年については、中学生、高校生がほぼ半々ですが、「高校生になってから行った方が語学力や自分の将来を考える上で良いのでは」という声もあり、回答者86名のうち、23名がその後、海外留学を経験しています。総括して派遣事業が多く参加者のその後に影響を与えていることが伺えました。協会では今回のアンケート結果を参考に、今後、より有意義な派遣が実施できるよう、内容を検討していきます。

□ 姉妹都市部会長より～「ふるさと日光の誇り」が行き着くところ（姉妹都市部会長 石川茂）

派遣者の意見、感想は読んでいて楽しい。中高生で幼くみえた彼らも今や、「海外は先進国だけではない」と視線はまさに世界を見つめている。

異文化のなかに身を置く経験は語学や文化理解の枠を超え、青少年の健全育成に有効である。

そんな中、私の関心は、「ふるさと日光の誇り」と「国際交流事業の参加」という点にある。

ひとりひとりの派遣の経験が広がりを持つためには今後のOBOG会の編成が待たれる。